



国労せんだい

No. 2691
2015年2月28日
発行責任者 大沼 元
編集責任者 武田 昌仙

春闘勝利に全力を

地方委員会を確認

地方本部は2月21日、仙台市内において、第126回定期地方委員会を開催した。
委員会では出席した委員の真摯な討論の結果、議案は全て承認され、当面する諸課題と15春闘勝利に向けた取り組みの意思統一が図られた。

全組合員が同じ目的・方向で

委員会では中島副委員長の挨拶で開会し、議長には小樽山委員（郡山設備分会）を選出した。地本を代表し、大沼委員長は、以下の挨拶を行った。（要旨）



全ての闘いを団結して頑張ろう！

▼政治情勢。昨年12月の衆議院解散総選挙の結果、52%の低投票率で自・公が絶対安定多数を占め、憲法改正賛成派議員が2/3以上を占めた。今後安倍政権に対する国民のチェックと抑止力強化が課題。
▼展望はある。沖縄県民は知事選挙で新基地建設を自らの手で拒否し、人権を優先する選択をした。憲法11条には基本的人権が謳われており、国政に人権が振り回されてはならない。
▼原発再稼働の動きはあるが、一方で故郷を追われた12万人の避難者が存在する。端的に1億2千万人のために沖縄県民の犠牲や福島12万人の犠牲があつてはならない。「人権」をキーワードに安倍政権の流れを変えよう。統一自治体選挙は重

要、組織内議員全員当選に向け奮闘する。
▼15春闘。安倍首相は昨年同様経済界へ賃上げ要請。しかし昨年は賃上げは一部企業に留まり、円安物価高と消費増税で実質賃金は目減り。
一方で法人税引下げ、生涯派遣法、残業代タダ法、首切り金銭解決法など労働分野の規制を徹底破壊。
今日の労働者の困窮は、独占資本と政府自民党が作ってきたものであり、政労使会議任せでなく、労働者の団結と統一で求めなければならぬ。中央委員会が決定したベア1万5千円の統一要求満額獲得に向け奮闘しよう。
▼国労の抱える運動課題。一つは安全・安定輸送確立の闘い。安全とサービスに妥協せず、後退させる業務委託に反対していく。二つは労働条件改善の闘い。労働協約改訂の取組みで、要求の多数派として就業規則改訂に主力を挙げる。また遠距離配転の解消など前進面もあり支社越えの扱

- 1・30 地本婦人部第100回定期委員会
- 2・2・3 只見線冬期問題会議（新潟地本合同）
- 2・4 第5回地方執行委員会
- 2・8 アスベスト対策全国代表者会議
- 2・10 東日本本部第32回拡大委員会

- 2・12 第6回地方執行委員会・第2回闘争委員会
- 2・15 地本アスベスト対策会議
- 2・15 アプロ・各支部業務部長合同会議
- 2・21 第126回地方委員会

来賓（敬称略）

- ☆社会民主党（国労議員団） 石川 建治
- ☆日本共産党 横田 有史
- ☆宮城県平和労働組合 千葉 武敏
- ☆全交運共済生協 太田 博二
- ☆国労東日本本部 伊藤 隆夫

いも粘り強く求めていく。
▼組織拡大。思うような数字には届かないが、土壌は広がりを見せ、種が蒔かれ発芽している。
目標は組織の1割、全組合員が同じ目的と方向で進めなければ成し得ない。経験と教訓を交流する会議を継続する」と述べ、忌憚のない委員の発言を要請した。
続いて来賓からは激励と連帯の挨拶を頂いた。
また財団法人国労会館仙台地方部の労働講座として、国労本部星野中執が「JR貨物が抱える構造的諸問題」と題した講演を行った。
さらに東日本本部伊藤執行委員からは、情勢と国労が抱える諸課題等が述べられた（別掲）。

その後、原子書記長が大会以降の経過と方針を、また中島財政部長が財政に関する議案を提起し、委員か

全ての闘いを組織拡大へ

▼2月10日の東日本拡大委員会の方針確立。喫緊の課題は組織拡大、安全問題など全ての闘いを組織強化・拡大に集約する意思統一をした。昨年の大会以降、関連会社も含め国鉄を知らない世代21人が我々の仲間になった。

▼JR発足29年、JR本体は6万人を切ったがグループ全体では10万人以上。圧倒的に未加入者が多く無協約状態で放置。今後委託化・外注化は拡大、機敏な対応が求められる。▼会社施策に対する対応。3月ダイヤ改正では支社3月の大きな施策が進められていくが、プレス発表が先行し、組合・社員への説明が遅い。労組不要論が背景の姿勢であればしっかりと物申す。

▼05年12月の羽越線脱線事故から10年の節目をむかえる。グループ経営構想vでも安全を「変わらぬ使命」と位置付け、昨年2月にはグループ安全計画2018を策定したが、その矢先に川崎事故が発生。JR貨物でも、「中期経営計画」のもと、全系統に合理化・効率化施策が。こうした中発生し続けている運転事故や労働災害は、安全最優先の取り組みの厳しさを物語り、会社も「実態から乖離したルールであれば、実態に合わせた対策も必要」と言わざるを得ない今の状況。我々労組側も検証と対策を見つめ直す必要性を提起。

▼労働条件に関する労働協約改訂の取組み。昨日第1回目交渉実施。仙台からも出席してもらい本社と議論。一括和解後の



東日本伊藤執行委員

▼05年12月の羽越線脱線事故から10年の節目をむかえる。グループ経営構想vでも安全を「変わらぬ使命」と位置付け、昨年2月にはグループ安全計画2018を策定したが、その矢先に川崎事故が発生。JR貨物でも、「中期経営計画」のもと、全系統に合理化・効率化施策が。こうした中発生し続けている運転事故や労働災害は、安全最優先の取り組みの厳しさを物語り、会社も「実態から乖離したルールであれば、実態に合わせた対策も必要」と言わざるを得ない今の状況。我々労組側も検証と対策を見つめ直す必要性を提起。

▼労働条件に関する労働協約改訂の取組み。昨日第1回目交渉実施。仙台からも出席してもらい本社と議論。一括和解後の

組織全体で取り組もう

組織強化・拡大対策会議

地方本部は1月17・18日の両日、ホテル松島大観荘において、「組織強化・拡大対策会議」を開催した。国労が最重要視するテーマであり、各支部・分会の代表者と組織部を招集し、この間の総括と今後の対策について意思統一を図った。

会議は、中央本部を始めとした各機関の問題提起と取組み報告、交流分散会を中心に構成された。地本大沼委員長の挨拶後、闘争指令第1号の継続を確認・指令を行った国労本部からは、出戸総務財政部長が問題提起を行った。

続いて昨年、主務職の仲間が国労へ復帰したことを契機に、青年2人が同時加入した盛岡地方本部の菊池組織部長から報告があり、同部長は、この間の盛岡地本の取組みと、青年労働者の加入の背景と経過、また成果と課題について述べた。

更に、国労東日本本部彦田青年部長から青年部の状況や取組みについて報告がされた。

彦田青年部長報告

◆東日本本部の青年部は23



東日本彦田青年部長

◆駅業務委託・JRステーションサービスの仲間：自分たちのために労働組合が、例えば国労が何をしてくれているのかが見えないという。目に見える運動を展開しなければ。そのためには学習と交流がもっと必要だ。◆自分も青年部として残さ

れた時間は多くなく、何が出来るのか残せるのか、真剣に考え議論している。◆若手の現状は、第二基本給が何か知らず上がって喜ぶ始末。ベアがなぜ大切なのかなど、労働条件に関する問題を丁寧に教える必要がある。また組口アレルギーもあり他労組に居たくないという若手も存在。何もしなければ組織は減少し消滅してしまう。前向きな議論

と行動で拡大の報告ができるよう頑張る。◆分散会報告から1日目に行われた分散会の報告が2日目にされた。その報告を聞き、どの組合員も職場で業務を通じて、また趣味などを通して、強弱はあるが若手社員との交流を行っているのを感じられた。つながりも決して希薄ではなく、信頼関係を築

きながらその厚みを増してきている。「後一步」が踏み出せれば、流れは大きく傾くことも現実味を帯びてきている。キーワードは「組織力」ではないか。「個」の取組みから組織的取組みへシフトアップしなければ、大きな流れを手繰り寄せることは困難である。

青年部報告にもあるように、残された時間は決して多くはない。憚ることなく、「明るく、楽しく、大胆に」国労への組織加入を呼びかけよう。【昌】

100回達成！ 婦人部が定期委員会

1月30日、国労仙台地本婦人部が100回目の定期委員会を松島町において開催しました。

当日は、中央本部加藤婦人部長を始め、地本婦人部OGや家族会からも参加がありました。地方本部を



継続した討論が団結の力になる

代表して原子書記長は情勢等を述べた後、「100回の歴史がある婦人部の方々がいることを喜ばしく思う。女性特有の悩みもあり、その共有化と改善を通じて、国労にこいよと言え関係作りをしてもらいたい」とお祝いと激励の言葉を贈りました。

また議事が進行する中で、婦人部（家族）として運動に関わってきた経過と想いなどを参加者一人ひとりにから発言がされました。

◆分割・民営化の直前では、当時の国鉄当局の女性に対する信じがたい暴言や扱い（5・6人から囲まれ、毎日〇カ、〇ホ、辞めるコール。国鉄は自民党が守るから、俺たちがお前を殺しても犯罪にならないとも言われた）があったが、婦人部の仲間を支えられた。

3・11の震災前に婦人部長を引受けたが、震災の時も本当に支えてもらった。あと一年で退職。宝物は仲間。ずっと支えられてきたので自分も支えて行かなければと思う。一生死ぬまで仲間がいようという思いがある【紙面の都合で代表して真砂婦人部長の発言のほ



分散会の様子

退職のお知らせ

12月31日付

長澤 善喜さん
会津若松地区

渡邊 幸夫さん
郡山駅連合

テクノ郡山

1月31日付

滝田 隆幸さん
貨物宮城

金田 誠さん
郡山駅連合

TSS本宮駅

エルダー退職

出光 博明さん
仙台建築区

B.T.仙台

長い間お疲れ様でした